

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）までお知らせください。

郷土の歴史を学ぶ（9月20日）

町内にある史跡を見学し、郷土の歴史に関心を深めてもらおうと町教育委員会が主催する「南富良野史跡めぐり」が行われました。参加した9名の皆さんは郷土資料室を見学してから下金山地区の森林鉄道跡・木工場跡や金山地区の駅跡などの史跡を巡りました。砂金掘りにも挑戦し、残念ながら、砂金は採取できませんでしたが、先人の苦労を偲び、郷土南富良野の歴史を学んでいました。



神奈川県の高校生が修学旅行で農業体験（9月25日）

下金山地区の農家6戸で構成する「夢香クラブ：長谷川由里子代表」が神奈川県湘南工科大学附属高等学校の生徒を受け入れ農業体験実習が行われました。

研修に訪れた21名は2グループに分かれ、じゃがいもの収穫などの体験をしました。多くの生徒は、収穫作業は初めての経験であり、土から出てくるじゃがいもをひとつずつ収穫していました。

お昼は地元野菜を使用したカレーライスを食べ、大自然の中で有意義な時間を過ごしていました。



はくちょうもち 稲刈りを通し先人の苦労を体験（9月22日）

下金山と金山の小学校全児童13名により、春に田植えを行った「はくちょうもち」の稲刈りを体験しました。この体験授業は、地元農家の協力により地域の主産業の理解や関心を深めるため毎年行っています。児童の皆さんは、農家の方より稲刈りの仕方や鎌の使い方などの説明を受けた後、早速手鎌を持ち、ぬかるむ田んぼに足を取られながら、うねを隠すほど実った黄金色の稲を丁寧に刈り取っていました。

刈り取った稲は、リヤカーで下金山小学校に運び、はさ掛けし乾燥させたあと、昔ながらの足踏み脱穀機による脱穀作業を体験し、年末には餅つき集会を開催する予定です。



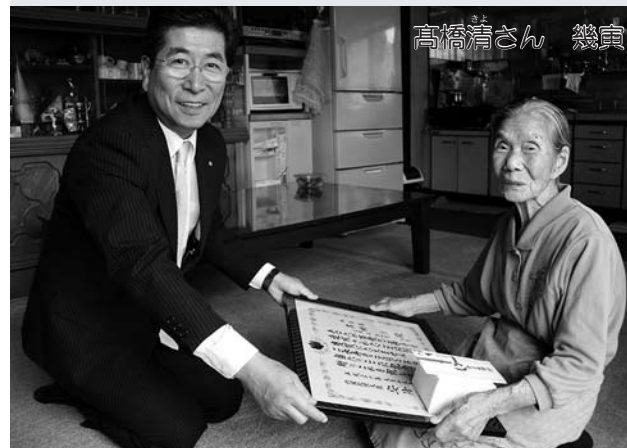
町民ソフトボール大会9チームで熱戦（9月28日）

町教育委員会などが主催する「第36回町民ソフトボール大会」が町営湖畔野球場や山村広場を会場に行われ、地域、職場や団体などで編成された9チーム（120名）が参加し、熱戦が繰り広げられました。試合は予選リーグと上位4チームによる決勝トーナメントで行われ、プレーに一喜一憂しながら白熱した試合を通して、参加者相互の交流が図られ秋のスポーツを楽しんでいました。競技の結果は、優勝「しもきんぼーず」（下金山）、準優勝「大乘会（元祖）」（幾寅）、第3位「幾寅タイガースC」（幾寅）となりました。

老人の日記念事業百歳万歳（9月29日）

老人の日記念事業として100歳到来者に安倍晋三内閣総理大臣からの賞状と銀杯が贈呈され、町から金一封が贈られました。

今年度の百歳は一味園入居者の水田クニさん・佐藤直さん、下金山の三宅スエさんそして幾寅東町在住の高橋清さんの4人に町長から「お元気に長生きしてください」と直接手渡されました。



フロアカーリングで熱戦（10月5日）

教育委員会が主催する「第3回町民フロアカーリング大会」が町民体育館で行われ、地域の愛好者で編成された10チーム42名が参加しました。競技は、氷上カーリングストーンの代わりに車輪の付いた木製フロッカーを使い、ターゲットを狙いひとり1投ずつ投げて試合を行います。

試合結果 フォースの部 優勝：下金山A 準優勝：金山長寿クラブAチーム 第3位：南ふらの歩こう会
ダブルスの部 優勝：南ふらの歩こう会 準優勝：夫婦 第3位：ひまわりチーム



雪虫いさなわたむしのいのちのリレー（10月10日）

みなみふらのSHCクラブゆっく主催の住民自主企画活動支援事業「雪虫いさなわたむしのいのちのリレー」と題して、富良野市山部在住の石黒誠氏（本町金山出身）が雪虫（正式名：トドノネオオワタムシ）についてスライドを使った講演会が情報プラザで開催され、約50名の受講者は見た事はあるものの、春から晩秋まで飛んでいるとお話などに園児から大人までがそれぞれ耳を傾けていました。

スポーツ安全セミナー開催される（10月5日）

町教育委員会等が主催する「スポーツテーピング教室」が中学生から76歳までの26名が参加して体育の日を前に町民体育館で五十公野修(有)イズミック代表取締役を講師に開催されました。

参加された皆さんは2人1組で講師から教わった事を実践し、実際に足首等にテープを巻いて外傷・障害の予防を学んでいました。南富良野高の佐々木樹君は「カーリングを始め色々なスポーツに取り入れていきたい」と話していました。